

令和4年度 学校評価【自己評価】の概要について

1 各部等の自己評価

令和4年12月、今年度の目標等について自己評価を行い、反省を行った。

(1) 重点目標

全体的におおむね達成できたという肯定的な評価となった。

重点項目アについては、生徒の学習意欲を高めるための研究と実践、資格取得に向けた周知と指導を継続的に展開したい。

重点項目イについては、キャリア教育の視点を踏まえた見通しある進路指導、各種活動の活性化による自主性や主体性の育成に向け、効果的な指導を展開したい。

重点項目ウについては、コロナ禍による指導の難しさはあるが、粘り強く継続した指導を展開したい。また、教員側の意識改革も同時に展開しながら全校的な指導を展開したい。

(2) 各部

全体的におおむね達成できたという肯定的な評価となった。

コロナ禍における経営や指導については数年間の経験を生かした展開をすることができている。一方、コロナ禍前の経営や指導の経験が薄れてきているため、学校教育が通常化していくことを見据え、他校を含めた関係機関との情報交換等を行い、早いうちから検討を進めたい。

(3) 各学年

全体的におおむね達成できたという肯定的な評価となった。

1年生については、課題はあるものの好スタートを切れているので、次年度のみならず将来的に大きな成長ができるよう効果的な指導を展開したい。一方、2・3年生については、課題が多く、特に基本的な生活習慣について課題が見られるため、キャリア教育の視点を踏まえた継続的な指導を展開したい。

(4) 各学科

全体的におおむね達成できたという肯定的な評価となった。

農業高校の根幹である学科の授業や行事について、創意工夫をした指導を展開することができた。生徒のさらなる飛躍と学校全体の活性化に向け、今後も指導内容や方法の研究と実践をさらに進めたい。

2 生徒・保護者アンケート

令和4年12月、生徒及び保護者へのアンケートを行った。

(1) 生徒アンケート(23項目)

肯定的回答が80%を越えた内容については12項目(昨年度比-4)、肯定的回答が30%を下回った内容については1項目(昨年度比±0)、前年度から肯定的内容が5ポイント増加した内容については0項目(昨年度比-8)、前年度から肯定的内容が5ポイント低下した内容については1項目(昨年度比±0)であった。コロナ禍における指導方法が確立してきていることもあり、比較的肯定的な回答が多いのではないかと考えられる。一方、家庭学習や読書習慣については依然として低い数値であることから、効果的な指導を検討するとともに、重点的に指導したい。

(2) 保護者アンケート(19項目)

肯定的回答が80%を越えた内容については10項目(昨年度比-3)、肯定的回答が30%を下回った内容については1項目(昨年度比±0)、前年度から肯定的内容が5ポイント増加した内容については0項目(昨年度比-16)、前年度から肯定的内容が5ポイント低下した内容については3項目(昨年度比+3)であった。コロナ禍による指導の難しさや、教員の意識改革が必要であると考えられる内容もあるため、指導方法等について早急に見直しを図るとともに、家庭と連携した教育活動が展開できるようにしたい。

(3) その他

自由記述回答欄については、生徒、保護者ともに、多くの貴重な意見が寄せられた。早急に改善が必要な内容(改善できる内容)、長期的に改善していくべき内容、現実的に改善が厳しい内容等、様々な内容が見られるが、昨今の社会情勢や本校の目指す教育等を踏まえたうえで、精査して今後の教育活動を展開したい。また、生徒、保護者ともに本校へ入学して良かったという項目が昨年度に引き続き80%を超える肯定的回答となった。この想いを裏切らないためにも、さらに充実した教育活動を展開したい。